

若手キャピタリストが選ぶ“次世代を担うスタートアップ”、 BRIDGE Tokyo 2022「INTRO Showcase 最優秀賞」11 社を発表

－ サイバーエージェント・キャピタルと共同でアジア版スタートアップの選出も実施決定 －

プレスリリース配信サービス「PR TIMES」等を運営する株式会社 PR TIMES（東京都港区、代表取締役：山口拓己、東証一部：3922）の子会社でスタートアップメディア「BRIDGE」事業を運営する株式会社 THE BRIDGE は、次世代スタートアップと「デジタル民主化」を語るオンラインイベント「BRIDGE Tokyo」において、最終日となる 2022 年 1 月 28 日（金）、次世代を担うスタートアップを讃える「INTRO Showcase」に選出された 106 社から、最優秀賞に選ばれた 11 社を発表いたしました。

また、次世代を担うスタートアップアジア版の選出を目的に、株式会社サイバーエージェント・キャピタル（東京都渋谷区、代表取締役社長：近藤裕文）が主催する「CA Pitching Arena」と協力し、「アジア版 INTRO Showcase(仮称)」の作成を開始いたします。

INTRO SHOWCASE

Supported by  Monthly Pitch

若手キャピタリストが選ぶ次世代スタートアップ最優秀 11 社

atama+

UMITRON

estie

Autify

Citadel AI
Trust your AI systems

DIGITAL
GRID

TRUSTDOCK

Medmain

LegalForce

Store600

LayerX

BRIDGE TOKYO

「BRIDGE Tokyo 2022」INTRO Showcase について <https://bridgetokyo.jp/showcase>

次世代を担うスタートアップ | INTRO Showcase 最優秀賞 11 社を発表

【INTRO Showcase 最優秀賞に選ばれた 11 社のスタートアップ】

atama plus、ウミトロン、estie、Autify、Citadel AI、デジタルグリッド、TRUSTDOCK、メドメイン、LegalForce、600、LayerX（五十音順・11 社）

※各社からの受賞にあたってのコメントは後述します。

BRIDGE Tokyo 運営事務局は、ベンチャーキャピタル（VC）、コーポレートベンチャーキャピタル（CVC）の各社から、次世代の企業成長を支援する若手キャピタリスト 14 名を選考委員に、スタートアップ 106 社を次世代のスタートアップ「INTRO Showcase」に選出しました。選出基準は 2015 年以降の創業、概ね 5 年以内に上場を視野に入れられる可能性のある急成長企業、としています。

そこから更に「5 年後に産業・社会を変革しているかどうか」をテーマに最終選考を実施し、次の 10 社（同点にて 11 社）を選出させていただきました。なお、このリストでは特に注目された企業を讃えるという意図から順位ランキングは公表しておりません。

【選考委員と採点方法について】

選考委員は、次の項目で全 106 社のノミネート企業を 30 点満点（内訳下記）で採点、その合計点から最優秀を選出しました。

テーマ：「5 年後に産業・社会を変革しているかどうか」・・・10 点

基礎項目：「選択した市場の大きさ・可能性」「サービスの革新性（特に技術の有用性）」「起業家・チームのビジョン」「ビジネスモデル（収益と成長）」・・・各 5 点

【選考委員の若手キャピタリスト】（順不同・敬称略・14 名）

村岡和彦／Investor（WiL（World Innovation Lab））、室井信人／アソシエイト（FGN ABBA Lab/ Fukuoka Growth Next）、神前達哉／Venture & Enablement Partner（ALL STAR SAAS FUND）、池田 翔／Partner / Indonesia Office Representative（グローバル・ブレイン）、坡山里帆／社長室 投資戦略本部 藤田ファンド担当（サイバーエージェント・サイバーエージェント・キャピタル）、一戸 将未／アソシエイト（ジェネシア・ベンチャーズ）、坂祐太郎／プリンシパル（ジャフコグループ）、古城 巧／インベストメントマネージャー（STRIVE）、古川圭祐／投資マネージャー（東京大学協創プラットフォーム開発）、佐藤直紀／Open Network Lab プログラムディレクター（DG インキュベーション）、奈良 勇輝／Associate, Investment（ディープコア）、武居隼人／フューチャー・デザイン・ラボ 東急アライアンスプラットフォーム事務局（東急）、漆山 乃介／パートナー（博報堂 D Y ベンチャーズ）、甚野 広行／シニア・アソシエイト（マネーフォワードベンチャーパートナーズ（HIRAC FUND））

選考委員について詳細はこちらのプレスリリースをご参照ください。

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000003.000079001.html>

アジア版 INTRO Showcase 立ち上げへ

BRIDGE Tokyo では注目すべきスタートアップのリスト拡大を目指し、アジア版 INTRO Showcase（仮称）の作成を進めることになりました。サイバーエージェント・キャピタルが主催する毎月のスタートアップピッチイベント「Monthly Pitch」のアジア・グローバル版イベント「CA Pitching Arena」と協力し、今後の成長が期待される次世代アジアスタートアップを選出する企画を立ち上げます。

世界的なスタートアップへの投資金は前年比で倍近くの 6430 億ドルに拡大、その流れは 2021 年におけるアジア地域にも及び、年間の投資額は 1651 億ドルとこちらも前年比で 50% 近くの上昇がありました（※）

一方、その数が大きく増える中、どの企業に注目すべきかわかりづらい状況も生まれています。そこでこのアジア地域で数年に渡りスタートアップピッチイベントを開催してきたサイバーエージェント・キャピタルの「CA Pitching Arena」と共同で、注目すべきスタートアップの選出し、投資家、事業会社のみならずにとって有益なリストを作成することにいたしました。企画の詳細については順次公開とさせていただきます。

※：米調査会社 CrunchBase「Global Venture Funding And Unicorn Creation In 2021 Shattered All Records」および「Venture Funding In Asia Shatters Record For Year And Quarter—Thanks In Large Part To China」より

株式会社サイバーエージェント・キャピタル 代表取締役社長 近藤 裕文氏からのコメント

サイバーエージェント・キャピタルはアジアを代表する革新的なメガベンチャーの創出に貢献するという理念に基づきいち早くアジア地域へ進出し、これまで 8 か国 10 拠点に展開、2019 年からは「Monthly Pitch」のアジア・グローバル版イベント「CA Pitching Arena」を開催し、アジア全土で湧き上がる有望なスタートアップを日本に留まらずアジアの投資家へ向け発信して参りました。

この度平野さん率いる BRIDGE と CAC が有するグローバルネットワークを掛け合わせ、次世代の注目すべきスタートアップを発信し、日本からアジアのスタートアップによりアクセスしやすい環境を作ります。我々の取り組みにご期待ください。

INTRO Showcase 最優秀賞を受賞した各社からのコメント（五十音順）

atama plus 株式会社 代表取締役 CEO 稲田大輔氏

社会に大きなインパクトを与えるスタートアップの 1 社として選出いただき、大変光栄です。atama plus は「教育に、人に、社会に、次の可能性を。」をミッションに、テクノロジーを活用して「基礎学力」の習得にかかる時間を短くし、「社会でいきる力」を養う時間を増やすことを目指しています。現在は、教育を一人ひとりに最適化する AI 教材「atama+」を提供していますが、ミッション実現に向けては、まだまだ道半ばです。これからもより多くの生徒により良い学びを提供し、社会を変革できるよう atama plus 一同邁進してまいります。

atama+



CyberAgent.

BRIDGE TOKYO

ウミトロン株式会社 代表取締役 藤原謙氏

この度は急成長中の数あるスタートアップ企業の中からウミトロンを選出いただき、誠にありがとうございます。ウミトロンは「持続可能な水産養殖を地球に実装する」というミッションを掲げる 2016 年創業のスタートアップです。宇宙から見たときに地球の 7 割は海と、まさに水の惑星です。2050 年に世界人口が 97 億人になると言われる中、いかに海を活用して持続可能な食糧生産をテクノロジーで実現していくのか、そして海や魚におけるサステナビリティの重要性を消費者に伝え提供するのかをテーマに事業を拡大しています。受賞を励みに、今後もグローバル規模の非常に大きな課題に対して挑戦をし続けていきます。



株式会社 estie 代表取締役 平井瑛氏

この度は、「INTRO SHOWCASE」の中で、若手キャピタリストの注目を集めた 11 社に選出いただき、大変光栄で嬉しく思います。当社が取り組む商業用不動産をはじめとして、歴史ある巨大産業の DX においては、大企業・投資家(VC)・スタートアップの連携によるテクノロジーの社会実装が必要不可欠です。この入賞は、その取り組みの一端をご評価いただき大変心強く感じています。これを励みとして、チーム一同、より一層顧客に向き合い、プロダクトの価値を高めてまいります。



Autify, Inc. CEO/共同創業者 近澤良氏

この度は次世代を担うスタートアップとしてご選定頂き大変光栄です。Autify は、これまで労働集約的であったソフトウェアテストに変革を起こし、人が人にしかできない仕事に取り組める環境を作り、人々の創造性を高めることを Mission に掲げており、今回のテーマである 5 年後の社会を変革していける存在であるにご評価、ご期待を頂いた事を大変嬉しく思います。

顧客のニーズや市場の変化が激しい昨今の環境において、もはやテストの自動化なしには事業の競争優位性を保てないと言っても過言ではありません。これから大きく発展していくこの市場で、従来のソフトウェア開発手法を再定義し、未来のスタンダードを作り出していきます。



株式会社 Citadel AI 代表取締役 小林裕宜氏

今回、スタートアップメディアで著名な BRIDGE の栄えある賞をいただき感謝しております。AI が社会に浸透すれば、多くの人が知識や知恵を共有し、世代、国、言葉や社会環境を乗り越え、世界で活躍できる可能性が広がるでしょう。但しその為には、安心して AI を利用できる環境を構築することが極めて重要です。我々は正に、これからの社会に大きなインパクトを与える「信頼できる、説明可能な AI (XAI)」を実現します。AI に起因する新たなリスクから企業や社会を守り、「人間と AI が、安心して相互に補完・協調できる技術革新の基盤」を創り出したいと考えています。



デジタルグリッド株式会社 代表取締役社長 豊田祐介氏

この度は、名だたる企業の中からデジタルグリッドを選定いただき大変光栄に思います。カーボンニュートラル宣言、第 26 回気候変動枠組条約締約国会議(COP26)、第六次エネルギー基本計画にて再生可能エネルギー比率大幅上昇等の大きな追い風を受けての受賞と存じます。これらの目標達成に少しでも寄与すべく、従業員一同今後も益々研鑽してまいります。



株式会社 TRUSTDOCK 代表取締役 CEO 千葉孝浩氏

この度は、注目スタートアップとして選定いただきまして、誠にありがとうございます。オンラインの eKYC・本人確認は、全ての業界・業種に貢献できる領域ですので、コロナ禍が続きますが、社会と経済を止めないように、使命感を持って活動していきます。

そしていずれは、リアルな身分証画像を、様々な企業にバラ撒かなくても、身元証明や本人確認が簡単にできる世界にしていきたいと思います。国内外問わず、身元証明する個人と、顧客確認する企業の双方を DX していき、安全安心なデジタル社会の構築に貢献していきます。



メドメイン株式会社 代表取締役 CEO 飯塚統氏

この度は、「若手キャピタリストが選ぶ次世代スタートアップ」の注目の 10 社に選出いただき、誠にありがとうございます。弊社の取り組みを高く評価していただき、社員一同大変嬉しく感じています。

弊社、メドメイン株式会社は「テクノロジーでいつでも必要な医療が受けられる世界をつくる」をコーポレートミッションとして掲げ、病理 AI 解析ソリューション「PidPort」の開発・提供を行っております。

このたびの受賞を励みとして、目指す世界の実現に向けてより一層の精進を重ねて参ります。



株式会社 LegalForce 代表取締役 CEO 角田望氏

このたびは、「INTRO SHOWCASE」賞をいただき、大変光栄に思うと同時に、身の引き締まる思いです。LegalForce の事業成長を支えてくださった皆さまのお陰です。心より感謝申し上げます。

2017 年に共同創業者の小笠原と共に起業し、2019 年 4 月に AI 契約審査プラットフォーム「LegalForce」、2021 年 1 月に AI 契約審査システム「LegalForce キャビネ」の提供を開始しました。約 5 年間契約業務の課題と向き合い、ようやく社会の皆さまに認知いただけるようになってきた段階です。引き続き LegalForce は、最新のテクノロジーと法務の知見を組み合わせ、契約リスクを可視化し、コントロール可能な状態へ導くことで、あるべき権利が適切に守られ、より豊かで信頼に満ちた経済社会が実現されることを目指します。



LegalForce

600 株式会社 代表取締役 久保溪氏

「INTRO SHOWCASE」への入賞、大変光栄です。2021 年は特にマンション内での「Store600」設置の引き合いが増え、マンション専用筐体の開発&リリースや、換気口フィルターなどの備品販売など、マンションでの体験向上に向きあった一年でした。2022 年は特に冷凍筐体の開発を強化して本格展開していきます。足元の実証実験でも、これまでにないニーズの強さを感じており、自分の住んでいるマンション内ですぐに冷凍パンや冷凍惣菜、アイスなどが買える生活は、一度体験すると後戻りできない非連続的な体験だと強い手応えを感じています。

Store600

株式会社 LayerX 代表取締役 CEO 福島良典氏

この度は、「INTRO Showcase」へのノミネート並びにご推薦、ありがとうございます。「若手キャピタリストが選ぶ次世代のスタートアップ」という今回の意欲的な取り組みにおいて受賞いただけましたこと、チーム一同、大変嬉しく思っています。当社は「全ての経済活動を、デジタル化する」というミッションの実現に向け、お金や価値の移転に関わる産業のデジタル化を推進しています。プロダクトを通じ向き合う広大なマーケットは「働く人すべて」。多くの仲間・同志と力をあわせ、3 つの事業を力強く立ち上げていくことで「経済活動のデジタル化」に風穴を開けていきます。



ネクストスタートアップが実現するデジタル民主化

「BRIDGE Tokyo」は、今知っておくべきテックトレンドとスタートアップのショーケースを一度にチェックできるイベントです。「INTRO」では、これから起こるイノベーションのテーマを「デジタル民主化」とし、3 つのテーマについて次世代を担うスタートアップたちと語ります。そして、同じく次の時代を担う若手投資家たちが注目するスタートアップ・ショーケース「INTRO Showcase」を公表します。



INTRO

起業家・投資家たちと共に、旬のテックトレンド、注目すべきスタートアップを語るのが「INTRO」です。イベント会期中には「デジタル民主化」を大テーマに、全産業で起こるデジタル化の波、生活にさらに密着するコマース、そして次世代のプラットフォームとしてのメタバースという 3 つのテーマを次世代スタートアップたちと語ります。

INTRO Showcase

「BRIDGE Tokyo」では社会に大きなインパクトを与える、急成長しているスタートアップを「INTRO Showcase」として讃える機会を作りました。選考委員会に参加してくれたのは選出されたスタートアップ同様、これからの次世代を担う若手のキャピタリストの方々です。イベント期間中には選出された 106 社の「INTRO Showcase」から、さらに選考委員会で「INTRO Showcase 最優秀賞」11 社を決定しました。

参考：「INTRO Showcase」ノミネート 106 社と選考キャピタリストを発表（2021 年 12 月 3 日発表）

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000003.000079001.html>

【BRIDGE Tokyo 開催概要】

開催期間：2022 年 1 月 19 日（水）～28 日（金）

主催：株式会社 THE BRIDGE

会場：オンライン

参加者数：期間中にユニークで 1000 人・INTRO Showcase ノミネートスタートアップ各社

参加対象：スタートアップと一緒にほたらきたい副業・転職希望者の方、協業を通じて新しいビジネスを仕掛けたい企業の方、新しいスタートアップのヒントを探すビジネスパーソン

株式会社 THE BRIDGE について

【BRIDGE メディア概要】

URL : <https://thebridge.jp/>

BRIDGE は「変化を楽しむ人」たちをつなぐスタートアップメディアです。2010 年 6 月に創刊して以来、国内・アジアのテックトレンドを中心に毎日ニュースを配信しており、起業家や投資家などの情報ソースとしてご活用いただいています。また、2021 年春からメンバーシップ「Members」を開始し、会員向けの少人数をつなぐミートアップ「BRIDGE Tokyo Meetup」の実施や、情報をわかりやすくまとめた「BRIDGE Canvas」などを提供しています。



【株式会社 THE BRIDGE 会社概要】

ミッション： 人と社会の架け橋となり新たな価値を創造する

会社名： 株式会社 THE BRIDGE

所在地： 東京都港区南青山 2-27-25 ヒューリック南青山ビル 3F

設立： 2021 年 3 月

代表取締役： 平野 武士

事業内容： スタートアップメディア「BRIDGE」(<https://thebridge.jp/>) の運営、等

※当社は株式会社 PR TIMES のグループ子会社です

